

うるわし通信



一般社団法人
うるわしの桜井をつくる会
〒633-0091 奈良県桜井市
桜井1259エルトさくら内
TEL&FAX:0744-43-7773
URL: <http://lets.some.jp>
E-mail: lets@some.jp

令和8年7月

新しい防災気象情報と日頃の備え

台風6号は6月1日に沖縄県を直撃した後、西日本の南岸を通過し、3日午前 4時頃和歌山県南部に上陸しました。和歌山県では12時間で339.5mmの雨が降り、気象庁は古座川で氾濫が発生しているとして、新たな防災気象情報の運用開始後、初めて5段階の警戒レベルで最も高いレベル5氾濫特別警報を発表して身の安全の確保するよう呼びかけました。その後、勢力を維持したまま太平洋側を中心に記録的な大雨をもたらし、東京都心では12時間で173.5mmの雨が降り、6月の観測史上最多を更新。午前9時半ごろ東京・品川区では対象地域全ての住民が危険な場所からの避難を求められるレベル4の大雨危険警報を発表。一時、東京、神奈川、千葉の約150万人に避難指示が発令されました。

新しい防災気象情報				
	河川氾濫 1級河川などの 大河川の氾濫	大雨 低地の浸水や 大河川以外の氾濫	土砂災害 急傾斜地の がけ崩れや土石流	高潮 海水面上昇や 波の打上げによる浸水
警戒レベル 5相当	レベル5 氾濫 特別警報	レベル5 大雨 特別警報	レベル5 土砂災害 特別警報	レベル5 高潮 特別警報
警戒レベル 4相当	レベル4 氾濫 危険警報	レベル4 大雨 危険警報	レベル4 土砂災害 危険警報	レベル4 高潮 危険警報
警戒レベル 3相当	レベル3 氾濫 警報	レベル3 大雨 警報	レベル3 土砂災害 警報	レベル3 高潮 警報
警戒レベル 2	レベル2 氾濫 注意報	レベル2 大雨 注意報	レベル2 土砂災害 注意報	レベル2 高潮 注意報
警戒レベル1	早期注意情報			

内閣府防災担当は、危険警報を発表しても皆が逃げなくて、避難行動につながらずに逃げ遅れてしまう可能性もありますから「あらかじめ自分の住んでいる土地と周辺の河川との関係などを認識しておくことが重要。住んでいる地域の地形に関心を持つなど、日ごろの行動に防災の視点を組み込んでほしい」としています。桜井市内を流れる主な河川は、大和川（初瀬川）・粟原川・寺川・米川・巻向川など奈良盆地の水害・治水計画の対象になっています。桜井市は洪水・土砂災害ハザードマップや雨水出水浸水想定区域図を公表し、想定浸水深や避難行動の目安を示しています。気象情報やハザードマップ等のソフト面と、大雨が降っても河川が溢れないようなハード面の整備が両方整って市民が安心・安全なまちづくりが出来るためのまちづくりが可能となります。例えば粟原川は、谷地区を流れるところでは流路が判らないほど雑草で覆われ、大雨に対応できる流路の確保も心配される状況となっており、梅雨・台風に備えた河川管理が求められます。

事務局ひがし



粟原川 6月1日撮影

古代の都と河川

大和川（初瀬川）は桜井市北東部の山地を水源とし、やがて大阪湾まで通じる幹線河川です。そして三輪山のふもとを流れる巻向川が合流する扇状地に纏向遺跡跡が展開する。発掘調査により矢板で護岸した幅5m深さ1mの直線的な巨大水路が2本あり、遺跡の西辺部を北東から南西方向に延び初瀬川に続くと推定される水路と、それから分岐して南東に延び箸墓古墳の方向へ続く水路が確認されている。当時は船運路として大和川を通じ関東方面や中国から九州そして遠く外海へと結ばれている国際都市が形成していたと推定される。



桜井市には、古代の「上ツ道（上街道）」「中ツ道（橋街道）」「山の辺の道」「横大路（初瀬街道・伊勢街道）」などが通り、初瀬川に沿う初瀬峡谷には長谷寺門前町が形成され、門前町や宿場町として発達した街道都市です。特に初瀬川は東高西低の地形を利用して上流側の川で取水し、下流側の寺川や飛鳥川へ排水するという農業用灌漑システムが整えられてきました。

万葉集には「泊瀬川(初瀬川)の水を利用するための堰」が詠まれていて、堰や井堰を設けて用水を引いたことが詠まれています。

訓み「初瀬川流るる水脈の瀬を速みゐで越す波の音の清けく」

歌人：（詠み人知らず）

語訳：泊瀬川(はつせがわ)の流れが速くて、堰(せき)を越えてゆく波の音が清らかです。

「水脈(みを)」は、まわりより深くなっている流れ。「ゐで」は川をせき止めているところ。

初瀬川は、1811（文化8）年6月に「長谷（初瀬）流れ」と呼ばれる大規模な水害・土砂災害が記録されています。この時は死者100名以上を出した大惨事として、長谷寺周辺の石碑などに歴史が刻まれています。三輪や大福地域まで水害の被害がおよんだと言われています。このような災害の歴史があることから、地域の念願として1988（昭和63）年に、大和川の洪水調整等を目的に初瀬ダムが建設されました。

事務局ひがし



初瀬ダム

「MINAMATA-ミナマタ-」上映会

一社）うるわしの桜井をつくる会定時総会終了後に「MINAMATA-ミナマタ-」の上映会が開催された。アメリカの写真家ユージン・スミスと日本人翻訳者のアイリーン・美緒子・スミス夫妻の写真集『MINAMATA』を基に、ハリウッドスターのジョニー・デップが製作主演した第70回ベルリン国際映画祭特別招待作品です。

1970年代、熊本県水俣市の市民は地元企業の化学物質製造会社チッソの水俣工場が引き起こした原因不明の奇病により、水銀に冒され歩くことも話すことも出来ない子供たち、激化する抗議運動、それを力で押さえつけようとする工場側、そして健康被害だけでなく地域コミュニティまでもが破壊されようとしていた。人々の暮らしに寄り添ったユージンのカメラを通し



て、浮かび上がる人間の命の輝きと美しい絆が見える。警告と希望を焼き付けた彼自身の人生と世界を変える水俣病を象徴する傑作写真「入浴する智子と母」を撮る。

当日の参加者アンケートには、「水俣病は知っていたが、水俣で何があったのかは正直よく知らなかった」「映画を見てユージン・スミスの写真集を図書館で借りて帰ります」「水俣の地元の人たちの抑制された生活、起こったことの酷さ、ものすごく伝わってきました」「ジョニー・デップのユーモアと困窮と苦痛とそして闘いに満ちた演技がすごく良かった」「写真家は声のない人たちの声を伝える」「エンドロールで水俣病同様に未解決の公害紛争が世界各地で発生していることに驚いた」などと記載されていて「知るきっかけ」として、良質な作品でした。

うるわしの桜井をつくる会定時総会開終わる

6月21日(日)に第16回定時総会を桜井市立図書館研修室で開催しました。提出された案件はすべて承認可決され、堀井良殷氏の理事長重任が決まりました、令和8年度も引き続き会員皆様のご支援ご協力をお願いいたします。

総会終了後は「MINAMATA-ミナマタ-」の上映会が開催され、参加者からは「とても良い映画で鑑賞しに来た甲斐がありました、また良い作品の上映をお願いいたします」などのお声をいただきました。



桜井図書館友の会

月日：令和8年7月25日（土）テーマの本：『文鳥』夏目漱石（著）
令和8年8月22日（土）テーマの本：『落日燃ゆ』城山三郎（著）
令和8年9月26日（土）テーマの本：『人間の大地』サンテグジュペリ（著）
時間：午前10時～12時
場所：桜井市市民活動交流拠点会議室（エルト桜井2階内）
問合せ先：南部 ☎ 0744-43-5949 会員以外の参加も歓迎します。

編集後記

第16回定時総会で今年度の「うるわし通信」の発行計画の素案が確認された。今月（116号）は、世界的な気候「崩壊」が進む中で、地元での「防災の視点から地域課題」をテーマに編集をおこなった。9月（117号）は、「次世代の教育と子育て」をテーマに、少子化が進行する地域社会で求められる教育・子育てについて考え、11月（118号）では、物価高による地域の生活・産業への影響と、急速な高齢化の進行と地域福祉について、桜井の現状を分析・報告をおこなう予定である。新年を迎える1月（119号）では、市民の関心が寄せられている「桜井市民会館」が再整備されるのか？されないのか？について、ユネスコ世界遺産登録が認定され、桜井の文化面での新しい立ち位置について考えたい。

3月（120号）では、市政70周年を迎えた中での「今後の環境問題」をテーマにした編集を計画している。翌月の4月は、統一自治体選挙がおこなわれるが、「通信」で取上げた諸課題が、住みやすい地域社会づくりに貢献できるようにしたい。

（編集部）

うるわし通信発行人
ひがし俊克
TEL:090-3652-8104